

ヤナギ類樹木成分を活用したきのこの菌床栽培

～きのこの発生促進や発生収量の増加を可能とする菌床栽培方法～

アピールポイント

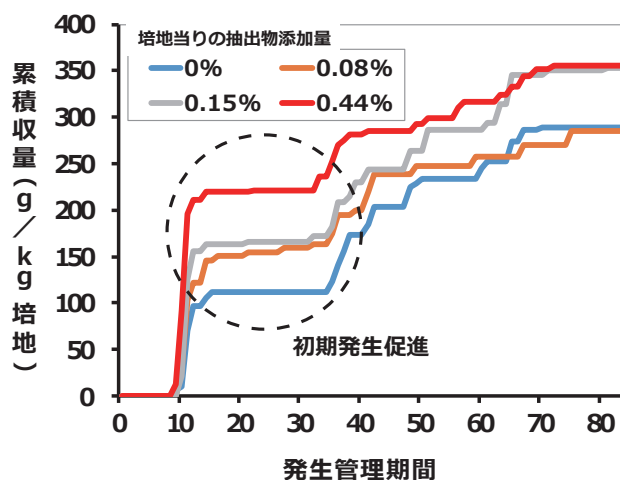
ヤナギ類樹木由来の水性抽出物をきのこ栽培用培地に添加することにより、菌床栽培できのこの発生が促進されたり、発生量が増加したりします。



- ・オノエヤナギやエゾノキヌヤナギ等のチップやおが粉等から水性抽出物を製造します。
- ・水性抽出物の少量添加で、きのこの発生促進や発生量増加につながり、生産効率向上に有効です。

発明の特長

- ・ヤナギ類の原木をチップやおが粉に加工して抽出装置へ水とともに投入し、所定の時間の浸漬あるいは攪拌により抽出した後、固液分離（ろ過等）を行って水性抽出物が得られます（適宜濃縮）。
- ・慣行法で使用されているおが粉をベースとした培地に、ヤナギ由来の水性抽出物を少量（培地当り0.15%以上）添加することで、80日程度のシイタケ発生管理期間で初期発生量増加（発生促進）、総発生量（累積収量）増加を確認しています（右図）。



活用に向けて

- ・用途の少なかったヤナギ類樹木の有用性に着目した利用技術です。
- ・今後、ヤナギ由来水性抽出物の製造技術や抽出物利用技術の実用化にも取り組めます。

基本情報

発明の名称	キノコ栽培用培地添加剤、キノコ栽培用培地、及び同培地を用いたキノコの栽培方法		
特許権者	道総研		
特許番号	特許第6989914号		
出願日	平成30年3月23日	登録日	令和3年12月7日
実施許諾実績	☐ 有り ☒ 無し		発明場
			森林研究本部 林産試験場

キーワード: ヤナギ、抽出物、きのこ、菌床栽培、培地添加剤